

清流のほとり

令和7年12月23日(火)発行

園長 津田 将美 寄 松田



カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです！

つなぐ心

「パーティーをやらせてください！！」

いつだって、何かをお願いに来る子どもたちの目は、きらきらと輝いています。

園長は、その熱意に圧倒されながらも、子どもたちの真っすぐな気持ちと成長に、とても幸せな気持ちにさせてもらっています。

2年ぶりに実施できた柿パーティーのお願いもそうでした。また、それに続いた年中さんのみかんパーティーのお願いもそうでした。その日の輝きは、その前の年長さん、またその前の年長さんから始々とつながりできた松田幼稚園の伝統でもあります。

「自分たちで考え、決めたことをやっていきたい。」

「幼稚園のみんなに、よろこんでほしい。」

「お友だちにやさしくしたい。」

様々な行事を通して、子どもたちは周りの喜びを自分の喜びとして感じることができる素敵なもの生きる力を身につけています。子どもたちの「つなぐ心」が人として正しく生きようとする力を育てているようです。

年長組の保育参観発表会の劇を見学した年少組の子どもたちは、夢をもちました。

「年長さんみたいな劇をやってみたい！」

宇宙人が出てくるシーンでは、「きたきた」「また、とられちゃうよ」などと劇中に入り込みながら鑑賞することで、自分たちもやってみたいという夢をあこがれの気持ちと共にもつことができたようです。

その気持ちも年中さんも同じで、今は発表会に向けて夢をふくらませながら、楽しんで劇を創り上げている最中です。年長さんがそうであったように、年少さんも年中さんも仲間を大切にしながら想いを出し合い、自分たちの劇を大切に育てています。それはまた、自分や周りの人の心を大切にする作業でもあります。

12月10日に、年長組の保育参観発表会がありました。何度も何度も話し合いを重ね、年少組や年中組に見てもらった反省を活かし、自分そして全体を振り返り、さらにより良いもの、観ている人に喜んでもらいたいものにしたいという子どもたちの強い願いがこもった劇でした。

いっしょに踊りながら、演技する仲間を応援する姿

良い劇を発表したいという真剣なまなざし

長く休んでいた友だちの演技を応援する力強いエール

どれもが、幼稚園での生活の集大成をつなぐ心に感じられ、頼もしくもあり、嬉しくもあり…。幸せな時間となりました。



二学期の風景

異学年交流種目（合同運動会に向けて）

今年の運動会は、「つなひき」や「たまいれ」など異学年交流を積極的に取り入れました。主体的に課題を見つけ話し合う力が、学年を越えてつながり、しっかりと育まれていることを感じました。



町文化祭の舞台発表

リハーサルからもう、完璧でした。応援する側は、安心して観ることができました。自分たちの演技に自信と誇りを持ち、胸を張って表現する姿に、運動会でつけたを感じました。

本格的な舞台装置の元、きらきらと輝く演技でした。



玉ねぎの苗植え

来年度のカレーパーティーのために、玉ねぎの苗を植えました。昨年自分たちがしてもらったように、年中さんが年少さんの間に入り、やさしく手伝う場面が見られました。

カレーパーティーをする頃には、それぞれひとつ上の学年に進級しています。ひと回りたくましくなり、みんなで笑顔でカレーを食べる日が楽しみです。

園外保育（お弁当の日）

年長さんは、松田山へ。年少さんと年中さんは合同で中丸児童公園へ。

ぽかぽかとあたたかい日差しの中、楽しい時間を過ごしました。愛情たっぷりのお弁当を食べる時には、たくさんの笑顔と会話が広がり、心がつながりました。とってもいい日になりました。



ラッキーの冬眠の支度

園のアイドル、ラッキーの冬眠のために、みんなで落ち葉を集めにいきました。年長さんが、どうして落ち葉が必要か、丁寧に説明をしてくれました。

ふかふかのお布団にくるまって、ラッキー春まで、おやすみなさい。

2025年もあとわずかとなりました。保護者・地域の皆様のご支援、ご協力のおかげで、今年も良い年となりました。
ご家族で、良いお年をお迎えください。